

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：1999年4月1日～2021年12月31日の間に、虎の門病院血液内科に入院・通院し、同種移植後再発の造血器悪性腫瘍に対して2回目の同種移植として臍帯血移植を行った方

【研究課題名】

同種移植後再発の造血器悪性腫瘍に対する2回目の同種移植としての臍帯血移植の役割

【研究の目的・背景】

《目的》

当院において同種移植後再発の造血器悪性腫瘍に対して2回目の同種移植として臍帯血移植を行った症例を解析し、有効性と特徴を解析いたします。

《研究に至る背景》

造血器悪性腫瘍に対して同種造血幹細胞移植後に再発した症例については予後不良とされており、再移植が根治的な治療となりえますが、治療関連死亡や再発率が高く、最適な移植方法については定まっておりません。臍帯血移植はこのような難治性の造血器悪性腫瘍に対して良い移植源になる可能性があります。当院は世界的に見ても非常に多くの臍帯血移植を行っている施設であり、同種造血幹細胞移植後に再発した造血器悪性腫瘍に対しての臍帯血移植についても多くの経験があります。本研究の結果から、難治性の造血器悪性腫瘍の患者さんにより良い移植医療を提供できるようになる重要な情報が得られると考えております。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年 8月 22日 ～ 2026年 3月 31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別するこ

とができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科 内田直之のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診療記録、薬歴、画像データ

【研究代表者】

血液内科 内田 直之

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科 内田 直之

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 渡部音哉

電話 03-3588-1111(代表)